

## 監査委員告示第9号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条の規定に基づく監査結果の公表について

令和7年11月5日

木津川市監査委員 西井 正  
木津川市監査委員 倉 克伊

### 定期監査結果について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により、同条第1項及び第2項に規定する事務の監査を実施したので、同条第9項の規定により、下記のとおり公表します。

なお、本監査は木津川市監査基準に準拠して行ったことを申し添えます。

### 記

1 監査執行年月日 令和7年9月26日（金） 午前10時00分から

2 監査対象部局及び監査対象

企画戦略部 学研企画課

- （1）情報発信（ホームページ・SNS等）の状況等について
- （2）移住促進事業について
- （3）地域おこし協力隊活動事業について
- （4）地域公共交通計画事業について

企画戦略部 デジタル推進課

- （1）木津川市公共施設包括管理業務の導入について
- （2）生成AIの利用に関するガイドラインの制定後の状況について
- （3）補助金等交付ガイドラインに基づく評価の方向性について
- （4）書かない窓口の横展開について

こども未来部 こども未来課

- （1）子ども・子育て支援事業計画について
- （2）若者応援給付事業について
- （3）若者会議事業について
- （4）「木津川市公立保育所民営化等実施計画」「木津川市公立幼稚園再編実施計画」の概要について

こども未来部 保育幼稚園課

- （1）病児・病後児保育室「おひさま」について
- （2）保育業務支援システムについて
- （3）保育施設及び幼稚園の修繕状況について

こども未来部 こども家庭支援課

- (1) 妊婦のための支援給付交付金事業について
- (2) 母子生活支援施設措置費について
- (3) こども家庭センター「宝箱」について

### 3 監査方法

歳入歳出予算の執行状況をもとに監査対象部局の財務に関する事務の執行について監査を行い、併せて当該部局における所掌事務の執行状況について提出された監査資料に基づき、担当職員から聴取し監査を実施した。

### 4 監査結果

歳入歳出予算の執行状況をもとに監査対象部局の財務に関する事務の執行について監査を行い、併せて当該部局における所掌事務の執行状況について提出された監査資料に基づき、担当職員から聴取し監査を実施した結果、監査を行った範囲内においておおむね適正であると認められた。

なお、一部の事務について、次に示すように指摘を要する事例が見受けられたので、今後、適正な事務処理に留意されるよう意見を述べる。

また、監査の際に見受けられた軽微な事項については、記述を省略した。

(別 紙)

企画戦略部

【学研企画課】

監査結果報告に添える意見として、SNSによる情報発信は、興味を引く内容となるよう研究・工夫を深め、更に市の魅力の充実に努められたい。また、ホームページのリニューアルにあたっては、利用者が見てわかりやすい表示とするとともに、情報検索等の操作が容易に行えるものになるよう取り組まれたい。

地域おこし協力隊については、市の観光行政等と連携を図りながら、今後の情報誌「ながものがたり」の刊行を通じて、市の魅力や情報を十分に発信し、地域の活性化に繋がられたい。

移住促進については、府内の移住促進特別区域に、瓶原地区を指定し取り組まれているが、今後は、加茂エリア全体を対象とする空家の解消につながる施策となるよう進められたい。

【デジタル推進課】

監査結果報告に添える意見として、公共施設包括管理業務の導入については、事業者への指導が適正にできる体制を整備し、費用対効果や導入目的の達成を目指すとともに、施設所管課職員の管理意識が希薄化することのないよう事務を進められたい。

補助金等交付ガイドラインについては、評価において要綱や算出根拠等が未整備であるとの指摘事項に対して、補助金の公益性の観点から、ガイドラインに基づく指導や進捗管理をされたい。

こども未来部

【こども未来課】

監査結果報告に添える意見として、若者応援給付事業は、物価高騰対策として位置づけ、高校生・大学生世代の若者支援を目的に実施されるが、事業を進めるにあたっては、学業等の充実に資するよう対象者全員に給付が行われ、事業効果が得られるよう取り組まれたい。

若者会議については、会議での意見、アイデアがまちづくりや市の施策に充分反映されるよう進められたい。

公立幼稚園・保育園再編実施計画は、既存2計画を再編・統合する内容であり、パブリックコメントや子ども・子育て会議等で十分審議し、少子化を迎える中で実態に即した計画を策定し、市の公立幼稚園・保育所の統廃合等を効果的に実施されたい。

【保育幼稚園課】

監査結果報告に添える意見として、病児・病後児保育については、利用率の向上に向け、事業の利便性や費用対効果を検証し、制度の充実に取り組まれたい。

保育業務支援システムについては、費用対効果を考え十分活用できるよう、キャッシュレス決済による請求管理などの未利用機能を積極的に活用し、保育士の業務負担軽減や保護者の利便性向上に努められたい。

公立保育所や幼稚園施設に係る改修や修繕については、老朽化の現状による多くの費用が見受けられ、施設の計画的な修繕等を検討し取り組まれたい。

幼稚園のバスについては、費用対効果の観点から、バス保有台数等を整理し、効果的な運行となるよう検討されたい。

#### 【こども家庭支援課】

監査結果報告に添える意見として、こども家庭支援センター「宝箱」については、出生率の低下に伴い利用状況も減少傾向となっているが、積極的にPRすることで、出産や子育て支援の充実に繋がれたい。

以 上。